コーディネーターだより 第３号

県立川越特別支援学校　コーディネーター　大類・角谷

巡回相談を行っています！

本校を含め各特別支援学校では巡回相談を実施しています。巡回相談では特別支援学校の職員が幼稚園、保育園、小中学校などを訪問します。そして、お子さんの様子を実際に見て、先生方と一緒に支援や配慮について考えます。

小中学校等

幼稚園・保育園

観察日の放課後　or
別日の放課後に訪問

①本校職員が学校を訪問し、
児童生徒の様子を観察する

②支援検討会
支援を考えるお手伝いをします

相談内容　例

- 席に座って学習することが難しい
- 文字を書いたり読んだりすることにつまずきがあるようだ
- 友だちとトラブルになることがとても多いのだがなぜだろう

巡回相談申し込みについて

学校や園からの申し込みが必要ですのでまずはご連絡ください。

詳細は本校ホームページ
本校TOP　→　支援部　→　巡回相談（地域の小中学校等）

049-235-0616　kawagoe.kodi@spec.ed.jp

本校は、作業療法士の先生２名に来校していただき、
童生徒の支援方法についてアドバイスをいただいております。
いただいたアドバイスをご紹介いたします。

ボディイメージを育てる栄養になる３つの感覚！！

- 皮膚感覚　　（触覚）
- 回転、ゆれ　　（前庭覚）
- 筋肉が張れるか（固有受容感覚）

個々の感覚だけでなく、協応（うまく働き合うこと）が大切。

こんなことありませんか？

対応できるグッズをご紹介いたします！！

そもそも授業中に落ち着きがないのはなぜ？

巡回相談で小中学校にうかがうと、”授業中に離席が多い”、”落ち着きがない”等のご相談がよくあります。ケースにもよりますが、考えられる要因をお伝えします。

始めにお伝えした、前庭覚が鈍いまたは過敏なお子さんは立ち歩きが多くなったり、身体を動かすことを求める傾向があります。ケースにもよりますが、わざと立ち歩いているのではなく、**”どうしても動かざるを得ない状態かもしれない”**と考えてみることも大切です。

その場合は**離席とは別の手段で**、前庭覚に刺激を入れてみることで座っていられる時間が増える可能性があります。

”離席が多い”事例の支援方法（グッズ紹介）

椅子に車用の緩衝材をつけています。
背もたれの部分に縦方向に付けると、背骨を支えられて姿勢保持がしやすくなります。
また座面の部分に横方向に付けると、身体に感覚を入れられるので、離席が減るかもしれません。

椅子の足にエクササイズ用のゴムを付けています。
足を動かすことで感覚が刺激され、離席が減るかもしれません。